



評価基準																		
		学修成果の大分類	学修成果の中分類 〔10の力〕	配点比率（％） 学修成果の（％）	評価方法の配点比率（％）					学修成果の小分類			尺度					
					定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル5 （S：100～90％）	レベル4 （A：89～80％）	レベル3 （B：79～70％）	レベル2 （C：69～60％）	レベル1 （F：59％以下）
観 点	尽 心	態度・志向	① 学習意欲	70			70			提出物を指示された期日までに提出できる	指示された期日までに提出しようとする姿勢、真面目さ	提出物の提出回数、文章量	提出回数100％厳守し、提出物は十分な内容の記述ができる（文章量95％以上）	提出回数100％厳守し、提出物は概ね十分な内容の記述ができる（文章量90％程度）	提出回数100％厳守し、提出物はある程度の内容の記述ができる（文章量80％程度）	提出回数100％厳守し、提出物は妥当な内容の記述ができる（文章量50％程度）	提出回数が100％を下回り、提出物は妥当な内容の記述ができない（文章量50％未満）	
			② 規律性															
	創 造	知識・技能	③ 知識	30			30			学んだ内容について、自らの視点を盛り込んで説明できる	学びの基礎能力である身近なところから世界までの動きの把握力	提出物の整理のあり方と説明意欲、独自の視点の有無	社会規範を逸脱しない独自の見解が述べられている。	独自の見解は弱いが学んだ内容について要領よくまとめられている。	独自の見解や要点を整理できた文章ではなくとも、学んだ内容の基本的考え方を理解した文章となっている。	学んだ内容の理解が十分ではないが、説明しようという意欲がみられる。	説明力が不足している。	
			④ 技能															
		思考・判断	⑤ 情報活用能力															
			⑥ 課題解決力															
		表現	⑦ 言語活用能力															
			⑧ コミュニケーション力															
	実 践	行動・応用	⑨ 主体性															
			⑩ 協働性															
合計				100			100											